

令和5年度 事業計画

令和元年度（2019年度）に策定された「第2次竹の台5カ年計画」の最終年度となるため、計画の検証や次期の計画について住民同士で意見交換する場を設ける。

1. 住民交流・親睦

「第21回竹の台ふれあいまつり」は、竹の台小学校および西神中学校の「コミュニティスクール」の事業と位置づけ、昨年の反省も踏まえながら開催する。また、オリーブを活用した交流の場を推進する。

2. 住民自治

竹の台第2次五か年計画の検証のため、住民アンケートを行う。また、次年度以降の具体的な活動に向けて、住民同士で意見交換をする場を設ける。

竹の台及び西神中央地区を住民にとってより「暮らしやすい」まちにするため、行政との情報交換を密にし、住民に対して情報提供を務めると同時に、団体や住民からの意見などを集約し、行政に提案を行う。

3. 高齢化

令和2年度に開始した「コミュニティ・カフェ」を継続して実施し、高齢者の居場所づくりや、世代間の交流を行う。関係団体・機関と高齢者の見守りについて協議し、具体的な見守り活動を行う。

4. 少子化

小中学校で新たに取り組まれる「学校運営協議会」に参画し、地域活動を子ども達の育ち・学びの場として活用できるようにする。「たけのパーク」を利用した子どもの居場所づくりを行う。

5. 防災

竹の台地区防災・防犯福祉コミュニティの組織運営を改善するため、規約の改正を検討する。高齢者等災害時要援護者を住民同士でケアできる仕組みを検討する。

6. 防犯

竹の台地域まちづくり防犯グループのメンバーを増やし、子ども達だけでなく地域の防犯に関心を持つ人を増やす。

7. 環境

循環型社会に向け、竹の台朝市はじめ、フードドライブやおもちゃ病院など、地域内外の環境と人材を活用した活動を実施する。

8. 情報共有（広報）

ホームページでは動画やイラストを活用し、みなさんがわかりやすい情報発信に努める。また、住民の意見集約をITを活用して行う。